

資料 6

日中サービス支援型共同生活援助制度の自立支援協議会への報告について

1 経緯

平成30年度の報酬改定に伴い、日中サービス支援型共同生活援助が創設され、自立支援協議会から評価を受けるとともに、当該協議会から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならないことになった。

【参考】

<厚生労働省社会・援護局障害福祉部障害福祉課 地域支援推進室 地域移行支援係
平成30年2月26日付事務連絡 自立生活援助及び日中サービス支援型共同生活援助
についてより抜粋>

○日中サービス支援型共同生活援助の趣旨について

日中サービス支援型共同生活援助（グループホーム）は、障害者の重度化・高齢化に対応するために創設された共同生活援助の新たな類型であり、短期入所を併設し地域で生活する障害者の緊急一時的な宿泊の場を提供することとしており、施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待される。

○対象者について

日中サービス支援型グループホームの主な対象者は、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することができない障害者（日によって利用することができない障害者を含む）であるが、共同生活援助の一類型であることから、障害支援区分による制限は設けない。

○地方公共団体が設置する協議会等への報告・評価について

日中サービス支援型グループホームは、地域に開かれたサービスとすることにより、当該サービスの質の確保を図る観点から、地方公共団体が設置する協議会等(※)に対し、定期的に（年1回以上）事業の実施状況等を報告し、協議会等から評価を受けるとともに、当該協議会等から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならない。

※本市においては、地域自立支援協議会に対し、報告及び評価を行うこととしている。

2 株式会社恵が運営する日中サービス支援型グループホーム（市内3事業）の状況報告について

（1）背景

令和6年6月、愛知県知事及び名古屋市長より、株式会社恵（以下、恵という。）の運営するグループホーム（5事業所）の指定取消処分が通知され、また、厚生労働省において、当該指定取消処分の理由となった不正行為（食材料費の過大徴収等）について本社等による組織的な関与が認められたことから、恵が運営する障害福祉サービス事業について、いわゆる連座制が適用されることが通知されました。

これにより、千葉市が指定するグループホームについて、指定更新をすることができなくなりました（直近の更新期限：令和10年2月29日）。

（2）現状

恵は、利用者に対する継続的なサービス確保のため、運営していた全ての市内グループホームを令和7年3月から株式会社 INNOVEL HEALTHCARE（以下、INNOVEL HEALTHCARE という。）へ承継しています。

事業承継にあたり、恵は、厚生労働省が推薦した3名のアドバイザーを迎える、障害福祉の観点からも検討を行ったと聞いています。

（3）本市における取組み

事業承継までの間、各グループホームからの職員・利用者の意向・動向に関する月例報告やその他関係機関との連携により、情報収集に努め、継続的かつ確実なサービス提供が行われていることを確認しました。

また、スムーズな事業承継に向けて、本市及び恵、INNOVEL HEALTHCARE の3者協議において、事前に、手続きの流れや承継後の事業計画等について、確認を行いました。

さらに、事業承継後、現地へ訪問し、管理者からの聞き取りや支援の様子の見学、記録等の確認を行い、適切にサービス提供がされていることを確認しました。

3 日中サービス支援型グループホーム実施状況

〔日中サービス支援型グループホーム一覧〕

事業所名称	郵便番号	事務所所在地	事業者名称	代表者
1 freeval川戸	260-0802	千葉市中央区川戸町510-1	株式会社コタン	代表取締役 安藤 知行
2 グループホームイノベル若葉下田	265-0076	千葉市若葉区下田町1096番地	株式会社INNOVEL HEALTHCARE	代表取締役 石野 政道
3 グループホームイノベル稻毛園生町	263-0051	千葉市稻毛区園生町519-11		
4 グループホームイノベル花見川	262-0044	千葉市花見川区長作町899		
5 エッセンス都賀	264-0021	千葉市若葉区若松町489-1	一般社団法人モアルソーシャルパートナー	代表理事 浅川 貴雄
6 グループホームはらから	264-0016	千葉市若葉区大宮町3421-1	NPO法人はらから	代表理事 植屋 久美子
7 グループホームビートルケア柏井	262-0048	千葉市花見川区柏井4丁目30-5	AHCグループ株式会社	代表取締役 荒木 喜貴
8 グループホーム ビートルケア鎌取	266-0002	千葉市緑区平山町2019-1		
9 ソーシャルインクルーホーム千葉園生町	263-0051	千葉市稻毛区園生町1279-1	ソーシャルインクルーホーム千葉大森町	代表取締役 松下 展千
10 ソーシャルインクルーホーム千葉大森町	260-0811	千葉市中央区大森町252-1		
11 ソーシャルインクルーホーム千葉あすみが丘東	267-0067	千葉市緑区あすみが丘東1丁目13-10		
12 みなもとホーム	264-0037	千葉市若葉区源町561-8	社会福祉法人千葉市手をつなぐ育成会	理事長 栗原 一雄
13 クライスマイム千葉高根町事業所	265-0061	千葉市若葉区高根町350-1	ミナノワ株式会社	代表取締役 大村 英壽
14 ドットホーム千葉(医療対応型障がい者グループホーム)	263-0051	千葉市稻毛区園生町1281-1	株式会社ドットライン	代表取締役 垣本 祐作
15 ピーハック日中支援型障がい者グループホーム千葉	260-0813	千葉市中央区生実町989-1	株式会社プロパティーマネージメント	代表取締役 長屋 光輝

R6.5月以降の開所である下記事業所については、年度実績がないため対象外とする。

事業所名称	郵便番号	事務所所在地	事業者名称	代表者	指定年月日
1 日中サービス支援型グループホームひだまり東寺山	264-0035	千葉市若葉区東寺山1067-1	株式会社おおこし	代表取締役 大越 崇司	R06.05.01
2 ソーシャルインクルーホーム千葉大日町	262-0004	千葉市花見川区大日町1460-2	ソーシャルインクルーホーム千葉大日町	代表取締役 松下 展千	R06.07.01
3 AMANEKU千葉大木戸町	267-0057	千葉市緑区大木戸町1405-9-1階	株式会社AMATUHI	代表取締役 吉田 竜真	R07.03.01
4 AMANEKU千葉加曾利町	264-0017	千葉市若葉区加曾利町1485-7-1階	株式会社AMATUHI	代表取締役 吉田 竜真	R07.03.01

報告・評価シート

【報告日 2025年 6月 27日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】			
1 施設概要	事業所名	freeva川戸		
	指定日	2021年12月1日		
	所在地	千葉市中央区川戸町510-1		
	定員数（共同生活援助）	10人		
	定員数（短期入所）	2人		
	共同生活住居数	1戸		
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】		
	住居名：freeva川戸	12名		
	住居名：	名		
	住居名：	名		
住居名：	名			
住居名：	名			
2 利用者状況 (令和7年6月27日 現在)	障害支援区分	人数		
	非該当	人		
	区分1	人		
	区分2	1人		
	区分3	4人		
	区分4	5人		
	区分5	人		
	区分6	人		
	合計	10人		
	年齢	人数		
~20代	2人			
30代	人			
40代	人			
50代	4人			
60代～	4人			
	人員配置			
	日中			
	世話人	生活支援員		
	13人	3人		
	(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	3.9人	2.3人		
	看護師の配置	<input checked="" type="checkbox"/> 有(6 人) <input type="checkbox"/> 無		
	夜間			
	世話人(夜間)	生活支援員(夜間)		
	13人	人		
	(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	1.7人	人		
	看護師の配置	<input type="checkbox"/> 有(人) <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	内訳			
	主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)			
	身体	総 数： 2人		
		主に日中GHで過ごす人数： 2人		
	知的	総 数： 2人		
		主に日中GHで過ごす人数： 2人		
	精神	総 数： 10人		
		主に日中GHで過ごす人数： 9人		
	難病等	総 数： 人		
		主に日中GHで過ごす人数： 人		
	その他			
	障害特性		人数	
	医療的ケアが必要な者		人	
	強度行動障害がある者		2人	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・居室で過ごしたり、リビングで他利用者や職員と談笑したり等各々マイペースに過ごされている。 ・買い物、通院同行 ・清掃 ・相談支援 ・食事提供 等 	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	<p>B型作業所（10人中8人※うち3人は月1回利用するか程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WAKU WORK（6人※うち1名掛け持ち） ・e-Team千葉みなと（1人※テレワーク） ・リバノス蘇我（1人※テレワーク） ・きらり（1人※在宅ワーク、掛け持ち） <p>休日は、土曜開所のB型作業所に通う方やおでかけする方、居室で過ごす方や共有スペースで雑談・テレビ鑑賞をして過ごす方がおります。</p>	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・いちご狩り・商業施設外出・ドライブ・お花見・カラオケ・流しそうめん・バーベキュー等 ・精神保健福祉協議会主催のイベント参加 ・音楽祭、夏祭り、山梨旅行、クリスマス会、年越し会等の季節イベント 	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週日曜日の町内会ラジオ体操・自治会対抗運動会・季節イベントに招待・不定期でコーヒーのキッチンカーを呼び近隣住民も利用可能な屋外カフェスペース設置・近隣の子供たちが遊びに来る事業所の開放日有り 	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて本入居や短期利用前に数日間の体験利用を行っている。 	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間365日常に常に職員2人がGHにいるように配置。 ・土日のイベントや外出時は通常よりも多く職員を配置。 	
	・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	<ul style="list-style-type: none"> ・秋頃に第一回目開催予定 ・参加者（入居者、入居者家族、自治会長等地域住民、懇意にしている事業所職員） ・内容（事業説明、見学、質疑応答） 	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	現状でも一部入居者家族、近隣住民、他事業所職員が訪問してくることがあるため構成員は比較的集まりやすいと考えている。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	・千精協総会研修、セミナー、医介塾、他事業所見学	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	・実習生1人 ・ボランティア3人	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	・年1回の避難訓練実施。 ・購入した倉庫に災害時の食料品等の備品を保管している。	
	・事故発生時の対応ができるか。	・前年度、大きな事故等無し。 ・緊急時の対応チャートを事務所へ掲示している。	
	・苦情対応ができるか。	地域の子供たちを受け入れるにあたっての簡易的な説明会において、ピアスタッフに体験談を話していただいたが、それについて「無理強いをして話させて虐待しているように思う」のような主旨の匿名での通報が千葉市に入る。※ピアスタッフは了解済み。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	前年度利用者 計15人	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	前年度緊急短期利用者 計5人	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	・普段から利用者の担当相談支援事業所、B型作業所、訪問看護師との情報共有を行っている。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	・1Fバリアフリー構造。 ・地域行事への積極的な参加。 ・イベントやカフェスペースでの地域住民への事業所開放 ・単身生活へ移行した元利用者の業務委託としての採用	
9 協議会からの要望・助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

報告・評価シート

【報告日 7年 7月 15日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】							
1 施設概要	事業所名	グループホームイノベル若葉下田		人員配置	日中			
	指定日	7年 3月 1日			世話人	生活支援員		
	所在地	千葉市 若葉 区下田町1096			3人	4人		
	定員数（共同生活援助）	15人			(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	定員数（短期入所）	1人			2.8人	3.1人		
	共同生活住居数	2戸			看護師の配置	<input type="checkbox"/> 有（　人） <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】		夜間			
	住居名：グループホームイノベル若葉下田	15名			世話人（夜間）	生活支援員（夜間）		
	住居名：グループホームイノベル若葉下田（短期）	1名			3人	3人		
	住居名：	名			(常勤換算後)	(常勤換算後)		
住居名：	名		2.8人	2.8人				
住居名：	名		看護師の配置	<input type="checkbox"/> 有（　人） <input checked="" type="checkbox"/> 無				
2 利用者状況 (令和7年7月15日 現在)	障害支援区分	人数		内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）			
	非該当	人			身体	総 数：	5人	
	区分1	人				主に日中GHで過ごす人数：	1人	
	区分2	人				知的	総 数：	6人
	区分3	人			主に日中GHで過ごす人数：		1人	
	区分4	6人			精神		総 数：	3人
	区分5	1人				主に日中GHで過ごす人数：	1人	
	区分6	5人				難病等	総 数：	人
	合計	12人			主に日中GHで過ごす人数：		人	
	年齢	人数			その他		障害特性	
~20代	3人		医療的ケアが必要な者			0人		
30代	0人		強度行動障害がある者			1人		
40代	2人							
50代	3人							
60代～	4人							

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	9人/12人は、平日は生活介護へ通所利用されています。平日グループホームで過ごされている利用者様3名は、居室内で過ごされたり、共有スペースで絵を書いたり、施設近隣散歩・買い物等行っております。掃除や居室内の整理などは、利用者様ができることは、職員と一緒に行ったりしております。	
	・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	9人/12人、外部利用。 イノベル若葉下田7人 ディアフレンズ大宮2人 若葉泉の里1人 若葉泉の里大宮1人 まぜこぜ1人 メープル1人 休日は居室で過ごされる利用者が多いため、天気のいい日には散歩や買い物を行っています。ご家族の面会が多く、ご家族と外食される利用者もおります。	
4 地域に開かれた運営について	・ 利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	月1回日曜日に、共有スペースにてホットプレートを使用し、お好み焼きやホットケーキを利用者様と作っております。 外出は、天気の良い日は散歩をしたり、買い物支援を行っております。	
	・ 家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	今年度（12月までには）、地域連携推進会議の開催を予定しており、現在調整中です。地域住民との交流は少ないため、今後は交流の機会が増えるような場面を提供していきたいと思います。	
	・ 体験的利用等のニーズに対応しているか。	常に、体験入所の受け入れを行っております。体験入所される利用者様は、本入所につながるケースが多いです。	
	・ 土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	土・日曜日の職員配置数は、平日より、1～2名多く配置しております。	
	・ 地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	今年度（12月までには）、地域連携推進会議の開催を予定しております。現在調整中です。	
	・ 地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	今年度（12月までには）、地域連携推進会議の開催を予定しております。現在調整中です。近日中には、地域の民生委員の方へのご挨拶を予定しております。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	社内での年間内部研修計画に基づいて、毎月1回全職員対象に社内研修を行っております。また、法人内で行う毎月の虐待防止委員会・法令順守研修・感染対策の研修も行っております。今後は社外研修も積極的に参加していきたいと思っております。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	(受け入れ人数など) 実習生 0 人、ボランティア 0 人 その他 0 人	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	緊急対策マニュアルの作成・提示を行っており、非常時の飲料水や保存食料も用意しております。	
	・事故発生時の対応ができるか。	落葉の件で事故報告書を提出しています。 今後もどのような状態でも、職員間情報共有を行い、対応できるよう努めて行きたいと思います。	
	・苦情対応ができるか。	現在、苦情としてのご意見はありませんが、ご意見をいただいた場合苦情処理簿を作成し、真摯に対応するとともに再発防止に努めています。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	現在、援護地が千葉市の利用者様5名受け入れしております。今後も地域の方を積極的に受け入れる予定です。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	緊急支援の受け入れはしております。要望があり次第、早急に対応させて頂きます。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	各相談支援事業所や他のサービス事業所とは、報告や相談をさせていただき、ご協力をいただいております。今後も連絡やご相談をさせていただきたく思っております。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	障害のある方でも、自分らしく安心した生活が送れるよう支援に努めています。	
9 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

報告・評価シート

【報告日 令和7年 6月 23日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】				
1 施設概要	事業所名	グループホームイノベル稻毛園生町	人員配置	日中	
	指定日	令和 7年 3月 1日		世話人	
	所在地	千葉市稻毛区園生町519-11		3人	
	定員数（共同生活援助）	10人		(常勤換算後)	
	定員数（短期入所）	1人		1.9人	
	共同生活住居数	1戸		看護師の配置	
	【住居の内訳】			□有（　人） <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	グループホームイノベル稻毛園生町	10名		夜間	
	グループホームイノベル稻毛園生町（短期）	1名		世話人（夜間）	
	住居名：	名		2人	
2 利用者状況 (令和7年6月23日現在)	住居名：	名		(常勤換算後)	
	住居名：	名		0.2人	
	合計	名		看護師の配置	
	障害支援区分	人数	内訳	□有（　人） <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	非該当	0人		主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）	
	区分1	0人		身体 総 数： 3人	
	区分2	0人		主に日中GHで過ごす人数： 2人	
	区分3	0人		知的 総 数： 6人	
	区分4	2人		主に日中GHで過ごす人数： 0人	
	区分5	2人		精神 総 数： 1人	
	区分6	5人		主に日中GHで過ごす人数： 0人	
	合計	9人		難病等 総 数： 0人	
	年齢	人数		主に日中GHで過ごす人数： 0人	
3 介護度別利用者状況 (令和7年6月23日現在)	~20代	3人	その他	障害特性 人数	
	30代	0人		医療的ケアが必要な者 0人	
	40代	4人		強度行動障害がある者 6人	
	50代	1人	その他		
	60代～	1人			

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	平日の日中はほとんどのご利用者様が通所事業所を利用されています。休日においては、共有スペースに集まることが多いので掃除や洗濯をたんぱく運んでいただいたりの手伝いや、裏の公園に散歩に出かけたり室内で掲示物を作るなどの軽作業をしています。作業や外出に参加される方もいれば、見ているだけの方もいますので声を掛けながら一緒にできることは一緒にやっています。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	9名中8名の外部利用。 自立支援訓練校（チャコアカデミー）1名。就労継続支援B型（TODAY弁天）週2回が1名。生活介護（でい・まさご1名）（畠中ガーデン1名）（でい・さくさべ1名）（星の会すばる1名）（生活介護い・べる若葉下田2名） 休日は共有スペースで過ごされる方が多く、パズルをしたり絵本を読んだりしています。	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	休日などはホームの裏の「園生の森公園」を1週40分程度、散策したりスーパーなど買い物へ行く用事の時には同行していただけたり、ドライブなども行っています。	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	ご家族とはそれぞれ常に連絡を取り合い、報告や相談をさせていただくことがあります。またひと月に1度ですが写真付きのお便りも送っています。地域の方々とは、区分の高い利用者様が多いので施設を見ていただくことしかできません。	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	現在、2名の体験をご利用いただいている。長い間、ご自宅で過ごされていた方々が本入居される目的でご利用されています。	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	平日、休日共通。1ユニット2~3名、夜間従事者2名での体制です。	
	・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	地域連携推進会議を民生委員の方にお願いしています。8月から10月を目指してご検討いただけることでした。	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	令和7年6月5日に民生委員の方にご挨拶へ行き見学のご案内をいたしました。その場でホームにおいてになり、軽くご見学いただき次回ほかの方々と来所いただけるお願いをいたしました。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	法人内で行う毎月の虐待防止委員会をはじめ、法令順守研修、BCPに基づく訓練、感染対策の研修など行っています。昨年は外部の研修に参加できる機会がなかったため今年は積極的に参加できるよう全職員へ情報の共有をしています。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	現在予定出来ておりません。今後受け入れ先を開拓していきたいと思っています。	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	年2回の訓練やBCP・緊急対策マニュアルを作成し掲示してあります。またそれぞれを毎月のケア会議にて確認しています。非常用の水や食料も確保しています。	
	・事故発生時の対応ができるか。	令和7年2月に内科的急変で救急搬送の事故報告を提出しています。様々な状態に対応できるよう掲示や日々の会議などでも話しています。	
	・苦情対応ができるか。	現在、苦情としてのご意見はありませんが、ご意見をいただいた場合苦情処理簿を作成し、真摯に対応するとともに再発防止に努めています。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	現在、援護地が千葉市の利用者様を31日で受入れています。今後も地域の方を積極的に受け入れる予定です。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	現在、短期の枠がないため緊急の受け入れとして体験での利用で対応しています。枠が取れるようになりましたら迅速に状況を把握し対応いたします。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	各相談支援事業所や他のサービス事業所様とは些細なことでも報告や相談をさせていただき、ご協力をいただいております。今後も密に連絡やご相談をさせていただきたく思っております。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	障害のある方でも家庭的な雰囲気の中、自分らしく当たり前の生活を当たり前にできることを念頭に支援しています。	
9 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

報告・評価シート

【報告日 2025年 6月 20日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】						
1 施設概要	事業所名	グループホームイノベル花見川					
	指定日	2025年 3月 1日					
	所在地	千葉市花見川区長作町899					
	定員数（共同生活援助）	10人					
	定員数（短期入所）	1名					
	共同生活住居数	1戸					
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】				
	住居名：グループホームイノベル花見川A棟		11名（短期入所1名）				
	住居名：		名				
	住居名：		名				
住居名：		名					
住居名：		名					
2 利用者状況 (令和7年6月20日現在)	障害支援区分	人数					
	非該当	人					
	区分1	人					
	区分2	人					
	区分3	人					
	区分4	1人					
	区分5	4人					
	区分6	4人					
	合計	9人					
	年齢	人数					
~20代	2人						
30代	1人						
40代	1人						
50代	4人						
60代～	1人						
	人員配置						
	日中						
	世話人	生活支援員					
	5人	10人					
	(常勤換算後)	(常勤換算後)					
	3.5人	3.5人					
	看護師の配置	<input type="checkbox"/> 有（　人） <input checked="" type="checkbox"/> 無					
	夜間						
	世話人（夜間）	生活支援員（夜間）					
	6人	人					
	(常勤換算後)	(常勤換算後)					
	2.2人	人					
	看護師の配置	<input type="checkbox"/> 有（　人） <input checked="" type="checkbox"/> 無					
	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）						
	内訳	身体	総 数： 1人 主に日中GHで過ごす人数： 1人				
		知的	総 数： 6人 主に日中GHで過ごす人数： 3人				
		精神	総 数： 2人 主に日中GHで過ごす人数： 2人				
		難病等	総 数： 人 主に日中GHで過ごす人数： 人				
		その他	障害特性		人数		
	医療的ケアが必要な者		0人				
	強度行動障害がある者		0人				

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	<p>(日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容) ※</p> <p>主に居室で過ごすか、共有スペースで過ごすかについても記載ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り支援 ・買い物同行（希望があれば随時実施など）、病院同行 ・レクレーション（イベントを毎月1回実施） ・散歩（毎週2回午前に実施、2人程度が参加） <p>居室で過ごす方や、共有スペースでトランプや色塗りをしている方がおります。</p>	
	・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	<p>(利用人数(○○人中○○人等)、主な日中活動サービスの種類、利用先、休日の日中の過ごし方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護 アロハ 1名 ゆうゆうライフ 2名 <p>休日については、主に共有スペースで色塗りをしたりテレビを見たりして過ごされている</p>	
4 地域に開かれた運営について	・ 利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	<p>(充実した地域生活を送るために実施している、外出や余暇活動など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週2回散歩 ・買い物同行（週3回、6名ほど） 	
	・ 家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	<p>(実施内容)</p> <p>訪問されるご家族とは情報共有をさせていただいている。</p>	
	・ 体験的利用等のニーズに対応しているか。	<p>(月平均の体験利用者数、体験利用の事例) 1名程度/月</p>	
	・ 土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	<p>(職員の配置状況など)</p> <p>土日も、平日と同程度の職員数を配置し支援を実施。</p>	
	・ 地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	<p>(開催時期及び方法、構成員（人数）、会議の内容など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年中に行う予定 	
	・ 地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	<p>(住居ごとの時期及び方法、見学内容など)</p> <p>今年度中に行う予定</p>	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	(実施・参加した研修名及び参加人数など) ・毎月1回研修を実施 ・毎月中旬ケア会議実施	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	受け入れ実績はありませんが、今後応募があれば受け入れていきたいと思います。	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	(災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など) ・年2回 消防訓練など実施（1月・7月） ・スプリンクラーや消火器、非常食の備蓄を行っています。	
	・事故発生時の対応ができるか。	(市に報告すべき案件について、主な内容・件数など) 令和7年3月9日 誤薬があり千葉市には報告済み	
	・苦情対応ができるか。	(利用者・家族・地域住民からの主な内容・件数など) 特になし	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	(前年度の受入人数など) 2カ月に1回 1人が利用されています	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	(受入体制、受入の対応など) 包括型GHを利用していたが諸事情により急遽イノベル花見川A棟の短期利用をした方がおります。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	(具体的な連携状況など) ドットライフ幕張（リハビリステーション、訪問看護）の方と利用者様の体調など毎週情報共有を行っています。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	(その他、独自の工夫点がある場合記入) ※設備のバリアフリー化、食事の提供内容の工夫など スロープやエレベータなど導入済み 食事について利用者様に合わせて刻みなど行っている	
9 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

報告・評価シート

【報告日 2025年 6月 17日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】			
1 施設概要	事業所名	エッセンス都賀		
	指定日	令和 4年 3月 1日		
	所在地	千葉市 若葉区 若松町 489-1		
	定員数（共同生活援助）	19人		
	定員数（短期入所）	1人		
	共同生活住居数	2戸		
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】		
	住居名：エッセンス都賀ユニットA（1階）	10名		
	住居名：エッセンス都賀ユニットB（2階）	9名		
	住居名：エッセンス都賀短期入所（2階）	1名		
住居名：	名			
住居名：	名			
2 利用者状況 (令和7年6月17日現在)	障害支援区分	人数		
	非該当	0人		
	区分1	0人		
	区分2	1人		
	区分3	5人		
	区分4	6人		
	区分5	1人		
	区分6	5人		
	合計	18人		
	年齢	人数		
～20代	5人			
30代	2人			
40代	1人			
50代	3人			
60代～	7人			
	人員配置			
	日中			
	世話人	生活支援員		
	5人	6人		
	(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	4.3人	5.2人		
	看護師の配置	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (1人) <input type="checkbox"/> 無		
	夜間			
	世話人（夜間）	生活支援員（夜間）		
	9.0人	人		
	(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	1.6人	人		
	看護師の配置	<input type="checkbox"/> 有 ()人 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	内訳			
	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）			
	身体	総 数： 4人		
		主に日中GHで過ごす人数： 4人		
	知的	総 数： 7人		
		主に日中GHで過ごす人数： 7人		
	精神	総 数： 11人		
		主に日中GHで過ごす人数： 11人		
	難病等	総 数： 2人		
		主に日中GHで過ごす人数： 2人		
	その他			
	障害特性		人数	
	医療的ケアが必要な者		8人	
	強度行動障害がある者		7人	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	<p>・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩(雨天除き午前1回＆午後1回、5～10名参加) ・家庭菜園(土作りから始め種まき。随時水やり。10名程度参加) ・お茶会(午前1回＆午後1回 5～10名程度参加) ・月4回レク(おやつ作り1回 誕生日ケーキ作り 汁鍋物作り1回 朝食パン提供) ・通院同行 ・入浴介助 ・トイレ介助 ・更衣介助 ・金銭管理 ・服薬管理 ・食事提供 ・夜間巡視 ・身体状況観察(含：バイタル測定) ・買い物同行＆代行 受給者証等の書類作成代行 <p>敷地内で家庭菜園を作り、昨夏には枝豆を栽培し、近隣農家から頂いた茄子の苗を育て、収穫した茄子を食材で活用したり利用者が調理して、日中活動に活かしている。また、隣接する若松町公園内を日々散策し、時には、桜の季節など弁当持参で花見を行うなど、できる限り屋外での活動を積極的に実施している。</p> <p>居室で過ごす利用者もいるが、ほとんどの方がリビングで過ごしている。</p>		
	<p>・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護 1名 若葉泉の里 ・就労B 5名 サブカルビジネスセンター/イオン長沼/DOT WORK/リバノス ・就労A 1名 リバノス <p>休日は買い物や友人と遊ぶために外出される方が多い。外出されない方は、リビングで色塗りや風船パレー等の日中活動を行っている。</p>		
4 地域に開かれた運営について	<p>・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。</p> <p>最寄駅のJR都賀駅まで徒歩12分の好立地を活かし、自ら移動が可能な利用者は、駅周辺で若葉図書館西都賀分館に通ったり、近隣商業施設での買物など外出活動を積極的に推進している。</p>		
	<p>・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。</p> <p>若葉消防署から水消火器をお借りして、9月に消火訓練の予定。当ホーム主導で消防訓練を行っていき防災意識の共有を図りたい。</p> <p>・中学校の職場体験を通して障害福祉について理解を深めるきっかけを作ってもらうための取り組みを検討中。障害者グループホームについて理解を促すために、パワーポイントで資料作りをした。</p> <p>・隣接する若松町公園で日々散策をすることで、近隣住民に利用者の存在を知って頂く機会としている。当初は子どもたちから「気持ち悪い」「怖い」などの声が聞かれたが、現在は毎日の散歩で挨拶を交わす交流が持てるようになり、グループホームの認知が浸透しつつある。</p> <p>・毎年自治会主催の盆踊り大会に参加し、近隣住民と交流を図っている。</p> <p>・近隣の農家のアドバイスを受け、農地の一部を借りて野菜や花の栽培を行っている。野菜や花を育て収穫することで、成長と共に収穫への期待、収穫後の料理に夢を膨らませている。農家の方々を招き、料理を振舞い、収穫の喜びを分かち合うことが目標。</p>		
	<p>・体験的利用等のニーズに対応しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当ホームに興味関心のある方の問い合わせに対し、電話対応、対面での見学案内を適宜受け付けている。 ・体験利用の希望があれば、身体状況に合わせ1回～複数回の体験利用を実施。 ・体験利用の際、ご家族より利用者の障害特性や日々のルーティンを細かく情報収集をすることで、利用者が自宅での生活と大きな解離が生じないよう配慮している。 ・特に曜日や日にちの希望がなければ、当ホームのイベント（おやつ作り・食のイベント・お楽しみ夕食など）の参加ができるような日程を案内している。 ・体験入所の入居時間は14時、退去時間は10時が基本であるが、ご家族や利用者の希望に合わせ、入退去時間の変更に関して臨機応変に応じている。 		

<p>・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土日も規定の人員配置を満たした職員数で支援を実施。 ・平日の日勤帯は、外部からの入電や来訪者対応すべく、規定以上の人員配置で対応している。また、レクリエーション活動にも支障をきたさない状況を作り出している。 ・現在、生活支援員が行っている清掃等の支援を、清掃専門の職員を雇用することにより、日中活動の充足を図る予定。 ・日勤帯で対応していた夕食づくりを、夜勤帯で対応することにより、日中活動の時間を十分に確保し、利用者の満足度を上げることができた。 	
<p>・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。</p> <p>・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今夏中に地域連携推進会議の構成員を選出予定。 ・9月～10月ごろに追加開設予定の日中サービス支援型共同生活援助の開業に合わせて、見学会の日程を調整中。 <p>個人情報保護に留意し、今夏中に地域連携推進員の選出を行い、今秋にも初回の地域連携推進会議開催及び事業所見学の機会を設定する。</p>	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年参加した虐待防止講習会をベースに、管理者が講習内容を纏め、各職員に講習内容をリリースした。2月、2日間にわたり実施し8名参加。不参加者に対し勉強会資料を渡し自主学習を指示した。次回8月開催予定。 ・身体拘束マニュアルをベースに管理者が部分的に抜粋して、全職員を対象に勉強会を2日間にわたり行った。5月8名に対し勉強会を行い、不参加者に対してはペーパーで自主学習を指示した。次回11月開催予定。 ・感染性胃腸炎の症状が疑われる利用者が2名確認されたため、感染防止研修として感染性胃腸炎について看護師が勉強会を行った。感染経路や感染拡大防止策、吐瀉物の処理方法などを伝えた。参加者4名、不参加者には資料を渡し自主学習を指示した。次回感染防止研修は10月予定。題材はインフルエンザ予防とする。 ・内部研修は四半期に1回を目途に適宜行っている。「服薬介助」について勉強会を実施。服薬介助に必要な知識を得るとともに、薬の作用・副作用を知ることで誤薬のリスクを確認する機会とする。 ・外部研修にて職員のスキルアップを目指し、マンパワーを上げ、利用者により良い支援が提供できるよう努めている。会社負担で、既に初任者研修1名の実施。 ・ミニカンファレンスは週1回40分を目安に、適宜開催している。 	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に来訪するボランティアは現在1名。 ・月に1回もしくは2回の訪問で、同行が欠かせない利用者の外出などを担っていただいている。 ・動物公園、ポートタワー、プラネタリウム、若松町公園散歩、商業施設でウィンドウショッピング、ドライブ等 	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の外部委託業者による消防設備点検実施。 ・防火防災対応マニュアルの作成 ・非常持ち出し用品の準備 ・年2回の防災訓練実施 ・看護師常駐にて身体状況の把握 ・職員及び利用者に対し火災時慌てないために、消化器の設置場所及び非常ベルの位置確認を行った。 ・消火設備の作動確認を専門業者にて毎年6月実施している。今年度も前年度に続き点検においては問題なし。 ・防火管理責任者研修を3名受講完了。 	
	・事故発生時の対応ができるか。	(市に報告すべき案件について、主な内容・件数など) 現在、事故報告の対象となる事故事件は発生していないが、事業継続計画に準拠し、迅速な対応及び報告する体制を整えている。	
	・苦情対応ができるか。	(利用者・家族・地域住民からの主な内容・件数など) 利用者及び家族からの重大な苦情は、事業継続計画に準拠し対応しているが、それ以外は、適宜、施設長を長に迅速な解決に努めしており、近隣住民からの苦情はない。	

6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・平均1名/月の受け入れをして、そのうちリピーターができてきているので、今後とも定着化を図る予定。 	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・基幹センター等からの問い合わせの際、空き状況もアナウンスし、いつでも受け入れできる体制をとっている。 ・要望に対し随時、対応しており、利用者の状況に応じて、長期利用や短期入所から共同生活援助への変更にも対応している。 ・相談員からの急な依頼に関して、身体状況等の情報を詳細に把握することで、緊急性の有無を判断し、緊急性のある場合は早急に対応すべく態勢を整えている。 ・たとえ緊急の受け入れであっても、事前に職員間で十分な情報共有を行い、既存の利用者が不穏とならないよう十分な周知をして、身体的影響が出ないよう配慮している。 <p>前年の延べ利用者数：15名</p>	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者及び家族の意向の共有 障害特性と身体状況の共有 支援の方向性を共有 ○介護：若葉泉の里 ヘルパーステーションのどか ○就労支援事業所：DOTWORK サブカルビジネスセンター リバノス イオン長沼 ○訪問看護ステーション：エブリー訪問看護ステーション デューン訪問看護ステーション ○医療機関：木村病院 下総精神医療センター 千葉リハビリテーションセンター 千葉大学医学部附属病院 東邦佐倉病院 みつわ台病院 北千葉整形外科 市立青葉病院 鎌取メンタルクリニック 都賀デンタルクリニック ○障害者地域支援事業所：ふれあいサロン
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	健常者と分け隔てのない住環境で、安心して生活できることをコンセプトに、JR都賀駅徒歩12分の好立地の住宅街の中で、常勤看護師による身体状況の把握と医療連携及び医療提供を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・館内のバリアフリー化 ・車椅子同士がすれ違える幅を持った廊下 ・車いす対応のトイレ & 浴室 ・浴室乾燥機設置 ・全館全室の窓にシャッター設置にて防犯対策 ・玄関二重ロック ・社有車確保 ・駐輪場確保 ・車いす用屋外スロープ設置 ・会社負担で資格取得支援 ・看護師による医療的ケア研修の実施 ・利用者はもとより職員やその家族の健康相談 ・清掃専門員の雇用 ・定期的な清掃業者の手配
9 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか	

報告・評価シート

【報告日 令和7年 6月 19日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】			
1 施設概要	事業所名	グループホームはらから		
	指定日	平成30年3月1日		
	所在地	千葉市若葉区大宮町3421-1		
	定員数（共同生活援助）	36人		
	定員数（短期入所）	2人		
	共同生活住居数	4戸		
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】	
	住居名：グループホームはらから1番館	10名		
	住居名：グループホームはらから2番館	8名		
	住居名：グループホームはらから3番館	9名		
住居名：グループホームはらから4番館	9名			
住居名：	名			
2 利用者状況 (令和7年6月19日 現在)	障害支援区分	人数		
	非該当	人		
	区分 1	人		
	区分 2	人		
	区分 3	人		
	区分 4	1人		
	区分 5	10人		
	区分 6	25人		
	合計	36人		
	年齢	人数		
~20代	人			
30代	2人			
40代	14人			
50代	16人			
60代～	4人			
	日中			
内訳	世話人	生活支援員		
	14人	23人		
	(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	7.6人	23人		
	看護師の配置	■有(2人) □無		
	夜間			
	世話人(夜間)	生活支援員(夜間)		
	0人	6人		
	(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	0人	6.0人		
看護師の配置	□有()人 ■無			
	主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)			
内訳	身体	総数: 0人		
		主に日中GHで過ごす人数: 0人		
	知的	総数: 35人		
		主に日中GHで過ごす人数: 0人		
	精神	総数: 1人		
		主に日中GHで過ごす人数: 0人		
その他	難病等	総数: 1人		
		主に日中GHで過ごす人数: 0人		
		障害特性	人数	
	医療的ケアが必要な者	1人		
	強度行動障害がある者	21人		

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	<p>(日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容) ※主に居室で過ごすか、共有スペースで過ごすかについても記載ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り支援 　・入浴、排泄、食事介助 　・手作りの食事提供 ・整容介助(髪剃り、爪切り、鼻毛カット、耳かき、歯磨き) ・受診付添い(歯科、精神科、皮膚科、内科、外科、循環器科) ・レク(ドライブ、誕生会、花火、クリスマス会、忘年会、調理レク、BBQ、初詣) ・毎週土日に散歩 <p>日中は利用者全員が生活介護を利用しています。</p>	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	<p>(利用人数 (〇〇人中〇〇人等)、主な日中活動サービスの種類、利用先、休日の日中の過ごし方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護は同法人内の「デイサポート和音」を利用しています。(36名) ・休日はグループホームにて散歩やレクリエーションをしたり、TVを見てゆっくり過ごしています。 	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	<p>(充実した地域生活を送るために実施している、外出や余暇活動など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土日に30分～1時間半、地域の散歩を実施しています。公園や公民館へ行き、地域の方に声をかけてもらっています。 ・少人数での外出を行っています。利用者の希望があれば希望地に、訴えが出来ない利用者には当人が楽しめそうな場所に外出、外食を行っています。 	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の夏祭りに参加。 ・町内を散歩することで、地域の方への挨拶を行うとともに、地域の防犯に協力しています。 	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	<p>(月平均の体験利用者数、体験利用の事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転居に伴う体験 1名(昨年度) 	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	<p>(職員の配置状況など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土日は平日よりも多くの職員数を配置し、サービスを提供しています。 ・地域交流としてレクリエーションを行う際は、支援に必要な人員を確保できるよう調整を行っています。 	
	・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	<p>(開催時期及び方法、構成員（人数）、会議の内容など)</p> <p>開催時期、構成員ともに現在検討中です。</p>	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は	<p>(住居ごとの時期及び方法、見学内容など)</p> <p>見学機会についても現在検討中です。</p>	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	(実施・参加した研修名及び参加人数など) ・強度行動障害基礎研修を職員全員が受講しています。 ・内部研修の充実、外部研修への積極的参加に努めています。 研修を受けた職員は他職員への周知を会議で行っています。 ・インターネットを活用した研修を取り入れ、個々に知識の向上を図っています。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	(受け入れ人数など) ・現在検討中です。	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	(災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など) ・定期的な避難訓練の実施 ・AEDの設置 ・救命講習の受講 ・防災実務研修に参加 ・発電機の備え ・非常食を3日分備蓄 ・井戸を引いている	
	・事故発生時に対応ができるか	(市に報告すべき案件について、主な内容・件数など) ・R6年 1件 ①体調不良（嘔吐）により、てんかん発作の服薬ができず、発作が続いたため、救急搬送を要請。	
	・苦情対応ができるか	(利用者・家族・地域住民からの主な内容・件数など) ・R6年 0件	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	(前年度の受入人数など) ・ご利用する利用者の家庭状況を鑑みて、現在3名の短期入所を定期的に受け入れています。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	・現在検討中です。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	(具体的な連携状況など) ・基幹相談支援センターの定期的な情報交換会に参加し、情報の共有を行っています。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	(その他、独自の工夫点がある場合記入) ※設備のバリアフリー化、食事の提供内容の工夫など ・玄関前のスロープ化 ・階段に手すり設置 ・介護対応の浴室設置 ・利用者の状況に合わせて、刻みやトロミ食の対応。 ・利用者の希望に応じた外出を実施しています。	
9 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

報告・評価シート

【報告日 2025年 6月 26日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】			
1 施設概要	事業所名	グループホーム ビートルケア柏井		
	指定日	令和3年12月1日		
	所在地	千葉市花見川区柏井4-30-5		
	定員数（共同生活援助）	8人		
	定員数（短期入所）	1人		
	共同生活住居数	1戸		
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】		
	住居名：グループホーム ビートルケア柏井	8名		
	住居名：	名		
2 利用者状況 (令和7年6月26日 現在)	障害支援区分	人数		
	非該当	0人		
	区分1	0人		
	区分2	2人		
	区分3	1人		
	区分4	4人		
	区分5	1人		
	区分6	人		
	合計	8人		
	年齢	人数		
	~20代	0人		
	30代	0人		
	40代	4人		
50代	2人			
60代～	2人			
内訳	人員配置			
	日中			
	世話人	生活支援員		
	3人	2人		
	(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	1.5人	1.2人		
	看護師の配置	<input type="checkbox"/> 有()人 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	夜間			
	世話人(夜間)	生活支援員(夜間)		
	4人	0人		
	(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	1.4人	0人		
	看護師の配置	<input type="checkbox"/> 有()人 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)				
その他の 属性	身体	総 数 :	0人	
		主に日中GHで過ごす人数 :	0人	
	知的	総 数 :	4人	
		主に日中GHで過ごす人数 :	0人	
	精神	総 数 :	4人	
		主に日中GHで過ごす人数 :	2人	
難病等	総 数 :	0人		
	主に日中GHで過ごす人数 :	0人		
障害特性				
その他	医療的ケアが必要な者		0人	
	強度行動障害がある者		0人	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	<p>(日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容) ※主に居室で過ごすか、共有スペースで過ごすかについても記載ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設周辺の散策 ラジオ体操 買い物支援 通院同行 <p>居室で過ごす方もいれば、共有スペースで過ごされる方もいらっしゃる。</p>	
	・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	<p>(利用人数 (○○人中○○人等)、主な日中活動サービスの種類、利用先、休日の日中の過ごし方)</p> <ul style="list-style-type: none"> 就労支援B型作業所 TODAY若松町 (5名/8名中) ペーカリーウィズ (1名/8名中) まりんワーク (1名/8名中) <p>休日は、居室で自由に過ごす方や移動支援で外出される方、グループホームで実施している散歩や体操に参加される方がいらっしゃる。</p>	
4 地域に開かれた運営について	・ 利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	<p>(充実した地域生活を送るために実施している、外出や余暇活動など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設周辺の散策 月1昼食テイクアウト余暇活動 	
	・ 家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	(実施内容) <ul style="list-style-type: none"> 散策時には地域の方への積極的な挨拶 	
	・ 体験的利用等のニーズに対応しているか。	(月平均の体験利用者数、体験利用の事例) <ul style="list-style-type: none"> 他自治体からの転居に伴う体験者受け入れ 	
	・ 土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況など) <ul style="list-style-type: none"> 土日の通所作業所が休みの日は平日よりも職員数を増やし支援 	
	・ 地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	(開催時期及び方法、構成員（人数）、会議の内容など) <p>2025年5月29日に実施済み。6名（利用者様、利用者家族、相談支援専門員、地域住民の方、事業所管理者、法人社員）事業所や法人の紹介、施設内見学、支援内容の紹介、事故ヒヤリハットの報告等</p>	
	・ 地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	(住居ごとの時期及び方法、見学内容など) <p>上記開催時に実施。</p>	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	(実施・参加した研修名及び参加人数など) ・定期的な個別支援計画書の見直し	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	(受け入れ人数など) 実習生 0人、ボランティア 0人 その他 0人	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	(災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など) ・定期的な避難訓練 ・非常食等の備蓄	
	・事故発生時の対応ができるか。	(市に報告すべき案件について、主な内容・件数など) ありません。	
	・苦情対応ができるか。	(利用者・家族・地域住民からの主な内容・件数など) 利用者様より、施設内のWi-Fiが弱いという苦情がありました。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	(前年度の受入人数など) ・月に1名程度	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	(受入体制、受入の対応など) ・短期利用の多い週末や大型連休時には職員数を増やし緊急時の対応ができるように心がけている	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	(具体的な連携状況など) ・入居利用者様の相談支援員との定期的な情報共有を実施	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	(その他、独自の工夫点がある場合記入) ※設備のバリアフリー化、食事の提供内容の工夫など ・スムーズな下膳ができるよう滑り止め付きのトレーを使用 ・甘味月を作りゼリーやプリン等のデザートを提供	
9 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

報告・評価シート

【報告日 2025年 6月 26日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】			
1 施設概要	事業所名	グループホーム ビートルケア鎌取		
	指定日	2023年 2 月 1 日		
	所在地	千葉市緑区平山町2019-1		
	定員数（共同生活援助）	20人		
	定員数（短期入所）	2人		
	共同生活住居数	2戸		
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】	
	住居名：ビートルケア鎌取1階	10名		
	住居名：ビートルケア鎌取2階	10名		
	住居名：	名		
	住居名：	名		
	住居名：	名		
2 利用者状況 (令和7年6月14日 現在)	障害支援区分	人数		
	非該当	0人		
	区分 1	0人		
	区分 2	0人		
	区分 3	1人		
	区分 4	8人		
	区分 5	3人		
	区分 6	8人		
	合計	20人		
	年齢	人数		
	~20代	2人		
	30代	0人		
40代	1人			
50代	11人			
60代～	6人			

人員配置

日中	
世話人	生活支援員
3人	3人
(常勤換算後)	(常勤換算後)
3.0人	2.7人
看護師の配置	<input type="checkbox"/> 有 ()人 <input checked="" type="checkbox"/> 無

夜間	
世話人（夜間）	生活支援員（夜間）
7人	4人
(常勤換算後)	(常勤換算後)
3.8人	2.4人
看護師の配置	<input type="checkbox"/> 有 ()人 <input checked="" type="checkbox"/> 無

内訳

主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
身体	総 数 :	9人
	主に日中GHで過ごす人数 : 3人	
知的	総 数 :	3人
	主に日中GHで過ごす人数 : 0人	
精神	総 数 :	9人
	主に日中GHで過ごす人数 : 2人	
難病等	総 数 :	1人
	主に日中GHで過ごす人数 : 0人	

その他

障害特性	人数
医療的ケアが必要な者	0人
強度行動障害がある者	0人

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	(日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容) ※主に居室で過ごすか、共有スペースで過ごすかについても記載ください。 ○見守り支援、排泄介助、入浴介助、金銭管理、通院同行、行政手続き同行、買物同行（ネットショッピングも）、困りごと相談、障害サービスの手続き（書類）、談話 ※用事がない限り、居室にて過ごされる方が多いです。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	(利用人数（20人中15人）、主な日中活動サービスの種類、利用先、休日の日中の過ごし方) ○就労B（Today若松、都町、ワークステーションリベルタス、ドットワーク） ○生活介護（若葉泉の里野呂・大宮） ○休日は、居室でテレビ鑑賞をしたり、移動支援で外出したり、グループホームで実施している散歩や体操に参加されたりして過ごしている。	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	(充実した地域生活を送るために実施している、外出や余暇活動など) ○パン屋に出かける（毎週水曜日） ○移動支援やタクシーの手配（希望による）	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	(実施内容) ○家族に対して利用状況報告（月1回程度） ○散策時、住民への声掛け実施。	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	(月平均の体験利用者数、体験利用の事例) ○ショートステイ（10日/月程度）受入れ。 ○体験利用は空室時は随時対応している。	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況など) ○曜日に関わらず、常時支援体制を整えている。欠員時は、バックアップ施設から人員の補充が見込める。	
	・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	(開催時期及び方法、構成員（人数）、会議の内容など) ・本年度の実施に向けて、現在本社担当部署や職員、また地域の関係者への連絡や会議内容を検討しております。	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	(住居ごとの時期及び方法、見学内容など) ・本年度の実施に向けて、現在本社担当部署や職員、また地域の関係者への連絡や見学内容を検討しております。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	（実施・参加した研修名及び参加人数など） ○月1回程度、本社研修にて学ぶ機会がある。 ○事業所内にて職員間での研修を行う	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	（受け入れ人数など） 実習生 0人、ボランティア 0人 その他 0人	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	（災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など） ○定期的な防災訓練 ○災害時に備えて、水、食料など3日分備蓄している。	
	・事故発生時の対応ができるか。	（市に報告すべき案件について、主な内容・件数など） 6月に利用者様が希望して救急搬送したという件がありました。千葉市障害福祉サービス課に事故報告書の連絡をさせていただきました。	
	・苦情対応ができるか。	（利用者・家族・地域住民からの主な内容・件数など） 特にありません。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	（前年度の受入人数など） ○平均月1名程度受け入れている（10日程度/月）	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	（受入体制、受入の対応など） 空き状況により受け入れている。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	（具体的な連携状況など） 必要な障害サービスの相談をしたり、緊急時など連絡を取り合っている。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	（その他、独自の工夫点がある場合記入） ※設備のバリアフリー化、食事の提供内容の工夫などなし	
9 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

報告・評価シート

【報告日 7年 6月 23日】
【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】			
1 施設概要	事業所名	ソーシャルインクルーホーム千葉園生町		
	指定日	令和6年 12月 1日		
	所在地	千葉市稻毛区園生町1279-1		
	定員数（共同生活援助）	20人		
	定員数（短期入所）	2人		
	共同生活住居数	2戸		
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】	
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉園生町Ⅰ	10名		
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉園生町Ⅱ	10名		
	住居名：短期入所 千葉園生町2	2名		
住居名：	名			
住居名：	名			
2 利用者状況 (令和7年6月15日 現在)	障害支援区分	人数		
	非該当	0人		
	区分1	0人		
	区分2	0人		
	区分3	7人		
	区分4	7人		
	区分5	5人		
	区分6	1人		
	合計	20人		
	年齢	人数		
~20代	2人			
30代	1人			
40代	3人			
50代	9人			
60代～	5人			
	人員配置			
	日中			
	世話人	生活支援員		
	17人	5人		
	(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	6.9人	3.4人		
	看護師の配置	<input type="checkbox"/> 有()人 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	夜間			
	世話人(夜間)	生活支援員(夜間)		
	15人	1人		
	(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	1.9人	0.1人		
	看護師の配置	<input type="checkbox"/> 有()人 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)			
	内訳	身体	総数： 7人 主に日中GHで過ごす人数： 4人	
		知的	総数： 5人 主に日中GHで過ごす人数： 0人	
		精神	総数： 8人 主に日中GHで過ごす人数： 3人	
		難病等	総数： 1人 主に日中GHで過ごす人数： 0人	
		その他	障害特性	
	医療的ケアが必要な者		0人	
	強度行動障害がある者		3人	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	<p>更衣について身体状況に合わせて支援、トイレでの排泄支援やオムツ交換等の支援。浴室は計4か所でシャワーチェアを2か所完備、入居者様のタイミングやADLに合わせて浴室を選択し自立、一部介助、全介助等の対応。</p> <p>食事に関して3食の提供で食材配送業者にてメニューが決定され塩分等の過剰摂取にならないようメニュー通りに調理。食前、食後等の服薬についてはGH管理で日時、氏名に注意し配薬、事故のないよう飲み込むまで確認。Wチェック等の実施で服薬事故のないよう注意している。その他、外出支援、通院同行、職員とオセロ等の希望に合わせられるよう配慮している。</p> <p>主に居室で過ごされる利用者が多いが、喫煙や食事の際に共有スペースの利用がみられる。</p>	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の日中サービス利用人数(20名中14名) ・外部の日中サービスの種類 【生活介護】 らいおん神明1名、青春道場3名、ふらる1名、さくさべ3人、ろーたす1名 【就労継続支援B型】 ドットワーク園生 3名、リハスワーク 1名、 【在宅就労継続B型】 リバノス都賀 2名 休日の過ごし方については外泊、ご家族と外出、移動支援の利用。 その他として医療連携(月2回の訪問)、訪問リハ(PT)、個別での訪問看護等の利用あり。 	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	<p>・近隣のコンビニエンストア等の買い物同行、郵便局や銀行等の生活に必要な場所への同行や送迎に努めており、個別での外出制限は関係者からの要請がない限りは安全が確保される前提で原則自由。趣味で釣りに外出される方もいらっしゃる。移動支援を利用し買い物を行っている</p>	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	(実施内容) ご家族や友人の訪問について制限は特別設けておあらず、急遽当日の外出や来訪についても問題なく対応可能。	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	(月平均の体験利用者数、体験利用の事例) 本入居満床の為、現在体験休止中 体験を行い両者相違なければ本入居のご案内を行っております。	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況など) 土日に関しても平日と同程度の人員配置で行っており、現在の人員配置に関しては7.5:1で対応できている。	
	・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	(開催時期及び方法、構成員（人数）、会議の内容など) 本社協議中	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	(住居ごとの時期及び方法、見学内容など) 本社協議中	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	・定期ホーム研修を毎月実施しており、法令違反にならないよう本社から毎月の研修についてアナウンスがある。職員一人でも未実施の場合はエラー表示され確実な管理ができており年間スケジュールとして12ヶ月分の研修が確定している。 ・虐待防止身体拘束適正化に関する内容(委員会同時開催)・感染症対策(委員会同時開催)・避難訓練・BCPに関する研修等。ホーム職員25名～30名が実施。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	直近での受け入れはないが受け入れ体制が整備され対応可能な場合は前向きに検討していきたい。	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	・感染委員会の実施。年4回(2月、5月、8月、11月) ・避難訓練実施。年2回(3月、9月) その他、水や食事の準備をBCP計画に沿って完備している。	
	・事故発生時の対応ができているか。	(市に報告すべき案件について、主な内容・件数など) R6 2件 ①誤薬 ②救急搬送(てんかん発作)	
	・苦情対応ができるのか。	R6 3件 利用者トラブル2件 スタッフトラブル1件 申し出があった場合、その都度対応している。内容が難しい事例に対しては上長に相談対応する。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	短期入所を2部屋(男性)完備しており、レスパイト利用や定期利用に備えている。現在短期入所の利用率は減少しているため関係先への共有を行い、困っている方に早く反応していきたい。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	(受入体制、受入の対応など) ・緊急な要請であっても対応出来るよう努めており、外部委託している食事の発注が困難な場合であってもGHで食事を購入し利用者様に不利益のないよう配慮している。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	(具体的な連携状況など) ・月に1度「あいさつ廻り」の電話連絡を行い、その際に施設の支援状況の情報共有を行っている。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	・玄関前をスロープ化し、階段や浴室には手すり等を設置。 ・2階建て完全バリアフリーの新築でオープンしている。 ・新規入居時はクロス張替えや清掃後の綺麗な状態で入居可能。 ・食事については手作りで直前での調理で温かく安全に召し上がっていただけます。 ・関係者(相談員・ご家族・友人)との面会は事前連絡なしでも対応している。	
9 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

報告・評価シート

【報告日 2025年 6月 27日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】			
1 施設概要	事業所名	ソーシャルインクルーホーム千葉大森町		
	指定日	2024年 12月 1日		
	所在地	千葉市中央区大森町252-1		
	定員数（共同生活援助）	20人		
	定員数（短期入所）	1人		
	共同生活住居数	2戸		
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】		
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉大森町Ⅰ	10名		
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉大森町Ⅱ	10名		
	住居名：短期入所 千葉大森町	1名		
住居名：	名			
住居名：	名			
2 利用者状況 (令和7年6月15日 現在)	障害支援区分	人数		
	非該当	0人		
	区分1	0人		
	区分2	0人		
	区分3	4人		
	区分4	9人		
	区分5	4人		
	区分6	3人		
	合計	20人		
	年齢	人数		
~20代	3人			
30代	1人			
40代	4人			
50代	8人			
60代～	4人			
	人員配置			
	日中			
	世話人	生活支援員		
	17人	5人		
	(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	6.4人	3.9人		
	看護師の配置	<input type="checkbox"/> 有()人 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	夜間			
	世話人(夜間)	生活支援員(夜間)		
	14人	1人		
	(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	2.2人	0.3人		
	看護師の配置	<input type="checkbox"/> 有()人 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	内訳			
	主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)			
	身体	総 数： 8人		
		主に日中GHで過ごす人数： 4人		
	知的	総 数： 7人		
		主に日中GHで過ごす人数： 2人		
	精神	総 数： 11人		
		主に日中GHで過ごす人数： 8人		
	難病等	総 数： 1人		
		主に日中GHで過ごす人数： 0人		
	その他			
	障害特性		人数	
	医療的ケアが必要な者		1人	
	強度行動障害がある者		1人	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	<p>共有スペースで過ごされる方、食事以外は居室で過ごされる方がいらっしゃるが、共有スペースの利用は自由。6:00~22:00利用可能。</p> <p>他入居者様とオセロ、TV視聴、読書。居室では音楽(サックス演奏)、ご自分のPCで友人とビデオ通話(手話にて会話)等様々。通院同行、買い物同行、入浴支援、排泄支援、3食の食事提供(外部の栄養管理されたもの)、通所先や外出時の準備等ニーズに合わせられるよう努めている。毎月訪問看護を依頼し全入居を対象に健康チェックを実施している。通院同行による追加料金設定はなく、サービスの一環として行っている。</p>	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	<p>入居者様20名中、11名が日中活動サービスを利用中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護事業所…7名 ・就労継続支援B型事業所…2名 ・障がい者雇用による就労…2名 <p>休日の過ごし方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動支援支援に外出…4名 ・居室でテレビ鑑賞等、ゆったりと過ごす利用者が多い。 	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・衣類や日用品の買い物同行、飲食店の同行。 ・入居者様のニーズにあった余暇活動(塗り絵、オセロゲーム、近隣散歩等) ・動画を用いてのストレッチやラジオ体操の実施 ・訪問リハビリによる運動 	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族が来所され、日外出の機会がある。面会は自由に行える。 ・近隣へ買い物へ行かれる方や公共交通機関を使用した外出が出来ている。 ・外出同行では、ご本人の意向に沿った支援を行うようにしている。 	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	<p>(月平均の体験利用者数、体験利用の事例)</p> <p>現在満床のため直近での体験利用は無し。以前入居された方で長期入院のため一度退去され、退院後再度入居されたケースあり。</p> <p>空室のある際は最大6泊7日で体験利用可能。</p>	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・土日や祝日も平日同様の職員数を配置できるように配慮している。 ・日中は食事、排泄、入浴支援を実施。夜間は食事や就寝後の見回りを実施している。 ・24時間配置に問題なく運営できている。 	
	・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	<p>(開催時期及び方法、構成員（人数）、会議の内容など)</p> <p>現在、会社全体で運用方法の検討中。</p> <p>7月を目安に本社より運用に関する説明を予定。</p>	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	<p>(住居ごとの時期及び方法、見学内容など)</p> <p>同上</p>	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	(実施・参加した研修名及び参加人数など) ・強度行動障害実践研修に参加 2名 ・毎月各種研修を行い、変化のある利用者様の会議を行い職員周知を実施。定期的に支援を振り返る機会を設けている。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	(受け入れ人数など) 直近での受け入れはないが受け入れ体制が整備され対応可能な場合、積極的に受け入れを行いたい。☒	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	・地震、火災、水害と想定ごとの避難訓練の実施。 ・備蓄品の確保。 ・救急搬送時に備えて個人情報や既往歴をまとめてファイリング。	
	・事故発生時の対応ができるか。	R6:2件 ・外出時の救急搬送 ・離設による警察への捜索願 事故発生時には障害福祉サービス課へ連絡し事故報告の有無を都度確認。援護地含め行政事故報告を提出し、不要な場合であっても相談員、ご家族、後見人等へ報告。ホームで第1報～第3報までの振り返りを行い、同様の事故が発生しにくくなる工夫を毎月検討している。	
	・苦情対応ができるか。	近隣住民からの苦情なし。入居者様より様々な相談をいただくので苦情として起票し職員で改善できることはないか環境整備は適宜実施している。例：他入居者様の話し声が気になる。夜間の足音が気になる。など	
	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	現在定期利用の方はなし。男性棟に1室にのみ短期入所受け入れ可能 過去に退院後の住まいがなく短期入所で空室を待つためロングショート受け入れあり。当施設での支援が困難となったため近隣の系列グループホームへ転居されたケースあり。	
6 短期入所の併設について	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	緊急時の受け入れ可能。 当日の問合せでも可能な範囲で対応している 当施設が困難な場合でも系列グループホームと連携し緊急時の対応を行えるようにしている。	
	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	・毎月、相談員や通所先等に直近の様子についてお伝えし、伝えた内容を記録に残すようにしている。支援の再構築が必要な場合は担当者会議にてご本人の意思を確認しながら関係者の意見を確認し、グループホームだけの意向にならぬよう努めている。	
7 他事業所との連携	・事業所独自の取り組みの有無	男性棟、女性棟の区別。食事は3食手料理で栄養士監修のメニューを提供。全面バリアフリーでEV完備、人員配置体制7.5:1取得を基準にシフト作成。日中サービス支援型だが、ニーズに合わせて通所先の利用は可能。面会制限なく、ご家族との時間を大切にしている。	
8 その他	・助言や要望へ対応しているか		
9 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）			

報告・評価シート

【報告日 2025年 6月 27日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】					
1 施設概要	事業所名	ソーシャルインクルーホーム千葉あすみが丘東				
	指定日	2024年 12月 1日				
	所在地	千葉市緑区あすみが丘東1-13-10				
	定員数（共同生活援助）	20人				
	定員数（短期入所）	2人				
	共同生活住居数	2戸				
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】			
	ソーシャルインクルーホーム千葉あすみが丘東A棟		10名			
	ソーシャルインクルーホーム千葉あすみが丘東B棟		10名			
	短期入所 千葉あすみが丘東		2名			
住居名：		名				
住居名：		名				
2 利用者状況 (令和7年6月27日 現在)	障害支援区分	人数				
	非該当	0人				
	区分1	0人				
	区分2	0人				
	区分3	7人				
	区分4	10人				
	区分5	1人				
	区分6	2人				
	合計	20人				
	年齢	人数				
~20代	0人					
30代	0人					
40代	7人					
50代	6人					
60代～	7人					
	人員配置 内訳 その他	日中				
		世話人	生活支援員			
		16人	7人			
		(常勤換算後)	(常勤換算後)			
		5.8人	3.3人			
		看護師の配置	<input type="checkbox"/> 有 () 人 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
		夜間				
		世話人(夜間)	生活支援員(夜間)			
		13人	5人			
		(常勤換算後)	(常勤換算後)			
	2.1	0.5人				
	看護師の配置	<input type="checkbox"/> 有 () 人 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
	主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)					
	内訳	身体	総 数：	4人		
		主に日中GHで過ごす人数： 1人				
		知的	総 数：	2人		
		主に日中GHで過ごす人数： 1人				
		精神	総 数：	15人		
	主に日中GHで過ごす人数： 8人					
	難病等	総 数：	0人			
		主に日中GHで過ごす人数： 0人				
	その他	障害特性		人数		
		医療的ケアが必要な者		0人		
		強度行動障害がある者		0人		

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	<p>・通所先への送迎・通院同行・外出支援(買い物同行)・イベント(いちご狩り・海・現在は秋に動物園を企画)・金銭管理(会社立替お小遣い管理)・入浴(出来ない所は直接支援・適宜声掛け、入浴時間は自由)・食事(3食手作りで提供。食材配送会社より栄養管理されたものを提供)・毎朝の通所先への外出準備等、身体状況やニーズに合わせて支援可能。利用者様とご家族同士での連絡のお手伝い、相談等</p> <p>各自居室で過ごすことが多いが、共有スペースでカードゲーム等を行う利用者もいらっしゃる。</p>	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	<p>(利用人数(20人中15人))</p> <p>主な日中活動サービスの種類は生活介護事業所・B型事業所・デイケアサービス。</p> <p>利用先: 「セルプ」4名「ディジー」5人「ワクワーカー」3名「キャロット」3名「アガベ」1名「下総デイケアサービス」2名になります。休日は買い物に出かける方が多く、休日に外食をする方もいらっしゃる。</p>	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	<p>施設の特性上、ADLが高い方が多く入居されており、ご自身で行くことができない場所や大きな荷物となる場合は送迎者にて同行可能。移動支援を積極的に活用しGH側の支援も合わせると20名中19名が外出出来ている。</p> <p>毎日午後は有志でカードゲームをされている。</p>	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	ご家族の面会は自由。お電話でご家族とお話される方もいらっしゃり、短時間で職員の管理のもと電話を貸し出すこともある。近隣の昭和の森公園でお祭りが開催される時は希望者を募り参加をしている。	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	直近で1名男性が体験利用された後、本入居となり20名満床。体験利用時は住まいがなく困っている状況で計画相談員より相談。短期入所も使用しつつ本入居となった。現在外出を避ける傾向であるがまずは生活に慣れていくことを目的としている。	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	<p>土日は通所先がお休みのため</p> <p>平日よりの多く職員を配置し支援を実施。</p> <p>通所がないため外出レクを実施したり入浴ではゆとりをもってのんびりすごせていただけるように務めている。</p>	
	・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	(開催時期及び方法、構成員（人数）、会議の内容など) 現在、会社全体で運用方法の検討中。 7月を目安に本社より運用に関する説明を予定。	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	(住居ごとの時期及び方法、見学内容など) 同上	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	・毎月各種研修を行い、変化のある利用者様の会議を行い職員周知を実施。定期的に支援を振り返る機会を設けている。 ・強度行動障害基礎、実践研修・サービス管理責任者基礎を積極的に受講中。毎月ホーム会議で全利用者様のケア会議を実施。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	(受け入れ人数など) 直近での受け入れはないが受け入れ体制が整備され対応可能な場合積極的に受け入れを行いたい。☒	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	・地震、火災避難訓練の実施。(水害なし区域)・備蓄品の在庫確認。 ・救急搬送時に備えて個人情報や既往歴をまとめてファイリング。 ・利用者様も一緒に避難訓練の実施、消火器の使用方法の確認等実施。	
	・事故発生時の対応ができるか。	R6:2件 ・外出時の救急搬送 ・誤薬：1件(胃薬飲ませ忘れ) 事故発生時には障害福祉サービス課へ連絡し事故報告の有無を都度確認。 援護地含め行政事故報告を提出し、不要な場合であっても相談員、ご家族、後見人等へ報告。毎月ホーム会議で従業員からの吸い上げに勤め同様の事故が発生しにくくなるよう検討している。	
	・苦情対応ができるか。	近隣住民からの苦情なし。 入居者様同士の女性トラブル(妄想や幻覚の症状)で仲介しながら大きなことに繋がらないよう仲裁し、主に女性入居者様の気分転換に努めている。	
	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	現在定期利用の方はなし。男性棟女性棟2階に1室ずつ完備。EVなく、階段利用のため主に知的・精神の方が利用されている。 事前にご相談いただければ食事提供可能。緊急の場合は食事提供不可のため近隣で食事の準備(お弁当等)で対応可能。	
6 短期入所の併設について	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	当日の問合せでも可能な範囲で対応している。 当施設が困難な場合でも系列グループホームと連携し緊急時の対応を行えるようにしている。	
	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	・毎月、相談員や通所先等に直近の様子についてお伝えし、伝えられた内容を記録に残すようにしている。ご家族の意見やご本人の意思を確認しながらGH側でできることをお伝えし各方面のご理解とご協力をいただけるよう努めている。	
7 その他	・事業所独自の取り組みの有無	男性棟、女性棟の区別。食事は3食手料理で栄養士監修のメニューを提供。日中サービス支援型だが、ニーズに合わせて通所先の利用可能。面会制限なく、ご家族との時間を大切にしている。通院同行可能(月1回片道30分程度が目安)。就労先検討時の見学対応、その他調整は積極的に行っている。	
9 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

報告・評価シート

【報告日 令和7年6月26日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】			
1 施設概要	事業所名	みなもとホーム		
	指定日	令和5年3月1日		
	所在地	千葉市若葉区源町561-8		
	定員数（共同生活援助）	20人		
	定員数（短期入所）	1人		
	共同生活住居数	2戸		
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】	
	住居名：なつき	10名		
	住居名：はるひ	10名		
	住居名：	名		
住居名：	名			
住居名：	名			
2 利用者状況 (令和7年6月25日 現在)	障害支援区分	人数		
	非該当	人		
	区分1	人		
	区分2	人		
	区分3	2人		
	区分4	3人		
	区分5	3人		
	区分6	12人		
	合計	20人		
	年齢	人数		
~20代	人			
30代	3人			
40代	8人			
50代	5人			
60代~	4人			
	人員配置 内訳	日中		
		世話人	生活支援員	
		6人	9人	
		(常勤換算後)	(常勤換算後)	
		3.6人	7.1人	
		看護師の配置	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (1人) <input type="checkbox"/> 無	
		夜間		
		世話人(夜間)	生活支援員(夜間)	
		13人	人	
		(常勤換算後)	(常勤換算後)	
	3.0人	人		
	看護師の配置	<input type="checkbox"/> 有 ()人 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)			
	身体	総 数 :	人	
		主に日中GHで過ごす人数 :	人	
		20人	人	
	知的	総 数 :	人	
		主に日中GHで過ごす人数 :	人	
		0人	人	
	精神	総 数 :	人	
		主に日中GHで過ごす人数 :	人	
		人	人	
	難病等	総 数 :	人	
		主に日中GHで過ごす人数 :	人	
		人	人	
	その他	障害特性	人数	
		医療的ケアが必要な者	0人	
		強度行動障害がある者	0人	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	(日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容) ※主に居室で過ごすか、共有スペースで過ごすかについても記載ください。 ・ 主にリビングで過ごすため、見守り支援 ・ 通院同行や買い物同行などの外出支援 　・ 休日は、希望によっては近くの公園やドライブ、季節行事(バーベキュー、クリスマス会)等を提供	
	・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	(利用人数 (〇〇人中〇〇人等) 、主な日中活動サービスの種類、利用先、休日の日中の過ごし方) 生活介護 でい・さくさべ13人 でい・まさご3人 でい・まさご式番館1人 地域生活支援センターふらる2人 福祉的就労1人	
4 地域に開かれた運営について	・ 利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	(充実した地域生活を送るために実施している、外出や余暇活動など) ・ 個々のニーズに沿って、近くのコンビニやスーパーまで買い物に出かける。また、移動支援を利用して外出や余暇活動を楽しんでいる利用者もいる。	
	・ 家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	(実施内容) ・ 半年1回程度、家族懇談会を開催。直接ご意見や要望を伺う。 ・ 地域の自治会の総会等に参加。餅つき大会などの地域行事にも積極的に参加している。	
	・ 体験的利用等のニーズに対応しているか。	(月平均の体験利用者数、体験利用の事例) ・ 満室のため、体験利用は対応していない。 ・ 短期入所定員1名で利用者のニーズに合わせて対応している。	
	・ 土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況など) ・ 24時間365日、常に3人以上の職員を配置している。 ・ 誕生会やバーベキューなどの余暇支援プログラム時は、職員を増員して対応している。	
	・ 地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	(開催時期及び方法、構成員（人数）、会議の内容など) ・ 未実施、今年度9月に実施予定	
	・ 地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	(住居ごとの時期及び方法、見学内容など) ・ 未実施 ・ 見学会の開催は、今年度9月に実施予定	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など） ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ・災害時・緊急時の備えがなされているか。 ・事故発生時の対応ができるか。	(実施・参加した研修名及び参加人数など) ・毎月実施の支援会議または職員会議において、日々の支援のフィードバック。また、虐待防止および身体拘束の啓発研修を実施。 (受け入れ人数など) 実習生 0人、ボランティア 0人 その他 0人 (災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など) ・災害時の備蓄品を倉庫に保管、定期的に防災訓練を実施。 ・緊急時の対応は、マニュアルを整備して職員に周知。 (市に報告すべき案件について、主な内容・件数など) 令和6年度は、市に報告すべき事故等は0件	
	・苦情対応ができるか。	(利用者・家族・地域住民からの主な内容・件数など) R6:4件 ・利用者より、居室のエアコンの取り外し費用についての苦情。 ・利用者より、部屋の荷物が動いているとの苦情。（職員は本人の許可なしに、居室に入っていない。） ・職員の言葉遣いや態度についての苦情。 ・利用者家族より、ジャージと私服の使い分けを行う旨、苦情。 ・苦情受付担当者および解決責任者が申出人と話し合い、解決するまで対応する。いただいた苦情等については、職員会議等で全職員に共有している。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	(前年度の受入人数など) 令和6年度は、延べ人数133名の利用者を受け入れた。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	(受入体制、受入の対応など) ・緊急時は、必要であれば法人内の他事業所からヘルプの職員を依頼し、可能な限り受け入れ体制を整える。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	(具体的な連携状況など) ・日中は法人内の事業所を利用している人が多いため、夜間と日の様子を密に情報共有している。また、相談支援専門員とも連絡をとり、必要であればすぐに訪問してもらえるようにしている。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	(その他、独自の工夫点がある場合記入) ・スロープやバリアフリーなど、高齢化や障害の重度化に対応した環境を整えている。訪問診療や訪問歯科、訪問薬剤を利用して医療との連携を図り、健康維持に努めている。	
9 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

報告・評価シート

【報告日 2025 年 6 月 21 日】

【評価日 年 月 日】

項目		【事業所記入欄】							
1 施設概要	事業所名	クライスハイム千葉高根町事業所		人員配置	日中				
	指定日	2023年4月1日			世話人	生活支援員			
	所在地	千葉市若葉区高根町350-1			3人	2人			
	定員数（共同生活援助）	20人			(常勤換算後)	(常勤換算後)			
	定員数（短期入所）	8人			1.5人	1.5人			
	共同生活住居数	2戸			看護師の配置	□有（　人） ■無			
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】		夜間				
	住居名：クライスハイム千葉高根町		6名		世話人（夜間）	生活支援員（夜間）			
	住居名：クライスハイム千葉高根町II		22名		人	4人			
	住居名：		名		(常勤換算後)	(常勤換算後)			
2 利用者状況 (令和7年6月21日 現在)	障害支援区分	人数			人	3.0人			
	非該当	人			看護師の配置	□有（　人） ■無			
	区分1	人			主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）				
	区分2	人			身体	総 数： 5人			
	区分3	1人			主に日中GHで過ごす人数： 4人				
	区分4	4人			知的	総 数： 1人			
	区分5	1人			主に日中GHで過ごす人数： 1人				
	区分6	3人			精神	総 数： 3人			
	合計	9人			主に日中GHで過ごす人数： 3人				
	年齢	人数			難病等	総 数： 人			
	~20代	人			主に日中GHで過ごす人数： 人				
	30代	人			障害特性				
	40代	3人			人数				
	50代	2人			医療的ケアが必要な者				
	60代～	4人			0人				
					強度行動障害がある者				
					0人				

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り支援 ・各介助（入浴、食事、歩行、排泄、体位交換） ・各管理（金銭、薬） ・通院同行 <p>ほとんどの利用者の方は、居室で過ごされる。 一部、共有スペースで塗り絵や卓球、テレビ鑑賞や談笑。</p>	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	<ul style="list-style-type: none"> 生活介護 ・らいおん神明：1名 就労継続支援B型 ・リバノス都賀：1名 移動支援（週1回・週3回） ・Hana中央：1名 エール若葉：1名 <p>休日は居室で過ごされるか、共有スペースで談笑・塗り絵。</p>	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの実施 <p>2024年12月：クリスマスイベント（施設内） ツリーの飾りつけ、ケーキの提供、お菓子詰め放題</p>	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的なご家族の来設 ・1回/週～月（ご家族による） 	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 体験：1名程度/2か月 ・連携の事業所からの紹介 ・営業先からの紹介 	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・平日、土日とも職員の配置は同等でサービスの隔たりはない。 <p>入浴介助や通院同行がある日は、支援に必要な人員を確保できるよう調整を行っている。</p>	
	・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	<p>9-10月ごろ開催予定。 町内会長、利用者家族、利用者本人、相談員の構成員を予定している。 会議内容：利用者の健康状態と生活の様子を、施設から共有。</p>	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	上記の地域連携推進会議に合わせて、実施予定。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など） ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ・災害時・緊急時の備えがなされているか。	・毎月1回、社内研修の実施。 ・動画視聴アプリにて、全職員が実施。（虐待防止法、災害時対策、身体拘束について、強度行動障害の支援、ヒヤリハット、個人情報保護、感染予防）など 現状なし 災害時・緊急時マニュアルの構築と職員への周知。 2024/9/22 避難訓練実施	
	・事故発生時の対応ができるか。	R6:13件 4/5 誤薬（飲ませ忘れ） 4/11 誤薬（飲ませ忘れ） 4/15 無断外出 5/20 誤薬（飲ませ忘れ） 5/23 誤薬（飲ませ忘れ） 6/24 誤薬（飲ませ忘れ） 6/28 誤薬（飲ませ忘れ） 7/2 死亡 7/21 拒薬 8/21 無断外出 9/4 誤薬（飲ませ忘れ） 9/19 救急搬送 10/10 誤薬（飲ませ忘れ） 誤薬（飲ませ忘れ）については、飲んだ後の袋を管理するように運用を変更済み。その後、誤薬は無し。 事故発生時のフロー構築と職員への周知。 フローに沿って、発生時の対応とその後の対策を講じている。 行政への報告含む。	
	・苦情対応ができるか。	R6:2件 ・利用者より、トイレの芳香剤がなくなってしまっていること ・利用者家族より、精算金が高いこと 苦情受付の連絡先を共有部へ設置 発生時は上層部報告フローにて対応している。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	・受け入れ人数：3～4名/月 ・交流のある相談員に対し、本入居に加え短期入所の案内をしている。 ・営業先に対し、本入居に加え短期入所の案内をしている。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	・定期的に利用いただいている方への声掛け。 ・利用いただいている方の通所先への提案。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	ドットライン事業所：入居者の4名が利用しているため、情報共有は定期的に行えている。 稻毛基幹センター：サビ管との前職からの業務共有があるため、円滑な情報共有ができる。	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	・歩行困難者の居室へ扉開閉時のベル設置 ・歩行介助者に呼び出しボタンを設置 ・買い物リクエストの受付とオーダー対応 ・ネットオーダーの実施：1回/週	
9 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

報告・評価シート

【報告日 令和7年 6月 26日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】			
1 施設概要	事業所名	ドットホーム 千葉（医療対応型障がい者グループホーム）		
	指定日	2023年8月1日		
	所在地	千葉市稻毛区園生町1281番地1		
	定員数（共同生活援助）	30人		
	定員数（短期入所）	3人		
	共同生活住居数	3戸		
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】		
	住居名：ドットホーム 園生Ⅰ（医療対応型障がい者グループホーム）	10名		
	住居名：ドットホーム 園生Ⅱ（医療対応型障がい者グループホーム）	10名		
	住居名：ドットホーム 喜沼原（医療対応型障がい者グループホーム）	10名		
住居名：	名			
住居名：	名			
2 利用者状況 (令和7年6月26日 現在)	障害支援区分	人数		
	非該当	3人		
	区分1	0人		
	区分2	0人		
	区分3	1人		
	区分4	4人		
	区分5	8人		
	区分6	14人		
	合計	30人		
	年齢	人数		
~20代	2人			
30代	3人			
40代	8人			
50代	13人			
60代～	4人			
	人員配置		日中	
	世話人	生活支援員		
	9人	22人		
	(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	8.4人	9.8人		
	看護師の配置	□有（　人） ✓無		
	夜間			
	世話人（夜間）	生活支援員（夜間）		
	人	25人		
	(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	人	7.1人		
	看護師の配置	□有（　人） ✓無		
	内訳			主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）
	身体	総 数：		20人
		主に日中GHで過ごす人数：		14人
	知的	総 数：		6人
		主に日中GHで過ごす人数：		4人
	精神	総 数：		8人
		主に日中GHで過ごす人数：		6人
	難病等	総 数：		3人
		主に日中GHで過ごす人数：		2人
	その他		障害特性	人数
			医療的ケアが必要な者	23人
			強度行動障害がある者	0人

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り支援 ・面会対応 ・外出時の支援 <p>居室で過ごされる利用者は多いが、リビングでTVを見ながら過ごされる方もいる。</p>	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	<ul style="list-style-type: none"> ・就労移行支援 ドットワーク 千葉駅前Ⅱ（就労移行支援） 1名 ・就労継続支援B型 ドットワーク 園生（就労継続支援B型） 1名 ・生活介護 ドットステイ 都賀Ⅰ（医療多機能型生活介護） 8名 <p>休日は居室で過ごされる方が多いが、ご家族と食事に行く方もいる。</p>	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	<p>利用者の外出は外部の方に付き添いをしていただく形となっており、事業所としては事前準備と必要時の助言を実施している。</p> <p>医療依存度のある利用者が映画館に行く際の同行者手配や医療機関への確認、嚥下食の助言などを行っている。</p> <p>余暇については必要時に対応しており、誤嚥リスクの高い利用者へ、食事ができるよう言語聴覚士によるリハビリの手配や医療連携を行っている。</p> <p>また、必要時の離床援助など施設内で行えるリハビリを実施している。</p>	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	<p>機会が確保されている。</p> <p>家族との交流は面会制限が無いため 2~4時間で対応が可能。</p> <p>外泊支援も進めている。</p>	
	・体験的利用等のニーズに 対応しているか。	<p>1件実績があり、その後、入所した。</p> <p>希望があれば随時対応できる体制である。</p>	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	土日も平日と変わらず常時の支援体制が確保されている。	
	・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	<p>令和7年9月開催を予定し準備を進めている。</p> <p>現在構成員の選出を行っている。</p> <p>事業所の状況の共有や、構成員から近隣の住民の意見や行事の共有を行えるような会議を実施予定である。</p>	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	<p>令和7年9月～10月開催を予定し準備を進めている。</p> <p>施設・職員の状況や利用者の様子を見ていただき、構成員からの意見、質問等を受ける機会を設ける予定である。</p>	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など） ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ・災害時・緊急時の備えがなされているか。 ・事故発生時の対応ができるか。 ・苦情対応ができるか。 	<p>職員に対しサービス品質に関する下限品質基準を設けている。 業務知識、コンプライアンス等のオンラインの研修を実施している。</p> <p>実績はないが希望があれば検討する。</p> <p>・避難訓練 ・感染症対策委員会の実施</p> <p>R6年度 事故報告書提出 5件 ・職員の窃盗 ・利用者の自傷行為 3件（すべて同一の利用者） ・薬剤の与薬ミス</p> <p>主な苦情対応 R6:7件 ・職員の窃盗について ・職員の対応について その他利用者、家族へ都度対応し問題解決に努めている。</p>	
6 短期入所の併設について	<ul style="list-style-type: none"> 地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。 ・緊急支援等の受け入れに対応しているか。 	<p>実績 2名</p> <p>実績はないが希望があれば検討する。</p>	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	相談支援事業所、介護支援事業所、医療機関など連携を都度実施している。	
8 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所独自の取り組みの有無 	設備のバリアフリー化、食事の提供内容の工夫、 入浴機器の導入、非常時の携帯バッテリー導入など	
9 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	<ul style="list-style-type: none"> ・助言や要望へ対応しているか 		

報告・評価シート

【報告日2025年6月27日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】		
1 施設概要	事業所名	ビーハック日中支援型障がい者グループホーム千葉	
	指定日	2023年10月1日	
	所在地	千葉市中央区生実町989番地1号	
	定員数（共同生活援助）	10人	
	定員数（短期入所）	1人	
	共同生活住居数	1戸	
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】
	住居名：Aホーム		10名
	住居名：		名
2 利用者状況 (令和7年6月27日 現在)	障害支援区分	人数	
	非該当	人	
	区分 1	人	
	区分 2	人	
	区分 3	5 人	
	区分 4	2 人	
	区分 5	1 人	
	区分 6	人	
	合計	8人	
	年齢	人数	
3 年齢別利用者状況	~20代	1 人	
	30代	人	
	40代	2 人	
	50代	4 人	
	60代～	1 人	
	性別	人数	
4 性別別利用者状況	女性	10人	
	男性	0人	
	その他	0人	
5 事業所内配置状況	日中		
	世話人	生活支援員	
	7人	5人	
6 事業所内配置状況	(常勤換算後)	(常勤換算後)	
	7.0人	5.0人	
	看護師の配置	■有(1人) □無	
7 事業所内配置状況	夜間		
	世話人(夜間)	生活支援員(夜間)	
	2人	1人	
8 事業所内配置状況	(常勤換算後)	(常勤換算後)	
	2.0人	1.0人	
	看護師の配置	□有(　人) ■無	
9 事業所内配置状況	主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)		
	身体	総 数：	1人
		主に日中GHで過ごす人数：	1人
	知的	総 数：	2人
		主に日中GHで過ごす人数：	1人
	精神	総 数：	5人
		主に日中GHで過ごす人数：	4人
	難病等	総 数：	0人
		主に日中GHで過ごす人数：	0人
	その他	障害特性	人数
10 事業所内配置状況	医療的ケアが必要な者		0人
	強度行動障害がある者		0人

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	居室で長時間過ごされている際には職員が積極的に声掛けし、共用部でのレクリエーションや散歩等を促す。 また、共用部での利用者同士の交流も促進しており、施設職員抜きでもコミュニケーションやレクリエーション（カレー作り、トランプ等）が成立している。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	(利用人数（8人中2人）) 主な日中活動サービスの種類：就労B及びA 就労B：ドットワーク蘇我（軽作業各種）1名 就労A：オネット（倉庫作業等派遣）1名 両名とも休日は施設内で過ごされます。	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	定期的に（毎日のように）施設内入居者と散歩（日中施設内にいる利用者へ声かけ）や月2回程度の外出会（ショッピングセンター等へ買物へ行く等）を実施	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	事業所から入居者家族に事業所への訪問を促し、入居者家族が利用者のもとに面会に訪れた際には、職員からお声掛けしコミュニケーションを図っていると定期的に面談を行い、交流を図る 地域との交流は今後の課題と認識している	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	体験利用：月平均2回 主に本入居の為の予行練習的な利用 体験利用中は交流を望まない利用者でなければ、レク等入居利用者と交流を図っている	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	土日も平日と同じシフト体制を構築 体験入居や施設内行事時（誕生会等）実施時は増員を行う	
	・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	町内会と連携し開催を計画中 (予定) 実施日：令和8年1月頃 参加者：10人程度（利用者、家族、近隣住民、町内会関係者） 内容：事業所の状況報告 近隣との交流について	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	町内会と連携し開催を計画中 (予定) 日時：令和8年1月頃（会議と同日） 参加者：会議参加者	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	毎月オンライン研修（虐待等）を実施し、最新情報へ更新している。 また講習会等があれば職員に積極的にアナウンスし、参加を促している R6 千葉市社会研修センターにて自閉症研修2名参加	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	申込があれば引き受ける体制は構築しております。	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	食料等の備蓄は20名+アルファ一米確保（3日分） 避難訓練1回実施	
	・事故発生時の対応ができているか。	特になし。 もし事故等が発生した場合には報告経路は構築済み	
	・苦情対応ができているか。	特に苦情等は現況では無いが、その様な報告があれば迅速に対応致します。	
6 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	申込があれば引き受ける体制は構築しております。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	申込があれば引き受ける体制は構築しております。	
7 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	相談支援所には定期的に訪問または電話等でコンタクトを行い、情報収集及び関係構築に努めている	
8 その他	・事業所独自の取り組みの有無	施設内に車イス等の介護器具を具備 入居者に生活満足度向上の為、おやつ提供の実施	
9 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		